

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	鳥栖市立基里中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は、コロナ禍の中で学校のあり方が大きく変化した。これを機会に行事の見直しや学校の運営の仕方を見つめ直し、働き方改革を進めていきたい。</li> <li>・生徒の学力や生活態度はある程度成果を上げており、落ち着いた学校となっているのは、現在の取組が正しい方向である結果と思われる。今後も、今の状況を続けられるように、チェックを怠らないようにしていきたい。</li> </ul>
------------------	--

2 学校教育目標	「誇りと生きる力を身につけ、心身ともに豊かな基里っ子の育成」
----------	--------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小規模校の利点を生かした学力向上</li> <li>(2) 豊かな心を育み健やかな体づくり</li> <li>(3) 学校・保護者・地域との連携した教育の展開</li> </ul>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	・校内研修で、「授業づくりのステップ1・2・3」の動画で研修を行い、取組の促進を図る。 ・生徒全員が学びたいと思うような課題設定や教材を工夫し、生徒の興味関心を高める授業を行う。							研究主任
	○根拠を明確にして、表現する力を育むために、理論や方法の共通理解を行い、実践していく。	○表現力の向上のための校内授業公開期間を各学期に2週間設定する。 ○他教科の授業参観を、学期に1回以上のを行い、授業研究会を行う。	・授業参観ウィークを設け、互いの授業参観を実施し、情報交換を図り授業改善を行う。 ・話し合い活動や発表の場を多く設け、生徒の表現力の向上に努める。							研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○すべてのクラスで「ふれあい道徳」 ○全職員が人権・同和教育の重要性を認識するため、1人1回以上研修会に参加	・学年や学級の実情に合わせて、道徳教材の研究を継続的に行い、情報交換をする。 ・担当を中心に各研修会の案内と参加の呼びかけを行い、参加・実施に努める。							道徳主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○Qアンケートの「悩みを話せる教師がいる」の項目の肯定的意見が85%以上。 ○Qアンケートの「ばかにされた」の項目の否定的意見が85%以上。	・「いじめ・命を考える日」に「生活アンケート」を行い、生徒の実態を把握し、いじめの早期発見・早期解決につなげる。 ・「いじめ・いのちを考える日」の集会を実施し、思いやりのある生徒の育成を図る。							教育相談担当
●健康・体づくり	◎望ましい生活習慣の形成	○「早寝・早起きを心がけているか」のアンケート結果の肯定的意見が85%以上。 ○「毎日朝食をとっている」のアンケート結果の肯定的意見が85%以上。	・定期的に、アンケートを実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」の実態把握し、啓発・指導をおこなう。							食育担当 生活指導担当
	①運動習慣の改善や定着化	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上	・保健体育の授業において、運動の意義や効果に触れさせながら、運動習慣の重要性を理解させる。 ・行事の精選と校時を守ることで部活動の時間を確保する。							保健体育科担当 生活指導担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・OJTの日常化と連携による校務の役割分担を行い、時間外勤務を削減する。 ・毎週月曜日の定時退勤日の実践を行う。 ・部活動の計画的な運営と休業日の実施							教頭
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・授業参観日に、地域の文化や人材等を生かした体験学習を積極的に行う。 ・小中学校での乗り入れ授業や交流活動を積極的に行う。							
○開かれた学校づくり	○地域と連携した学校づくりの推進	○保護者、地域の方の学校行事への参加者増を目指す。 ○地域の人材を生かした授業や講演会を2回以上設定する。	・各種よりや通信、HP、メール等を活用し、行事等の情報の発信を行う。 ・コミュニティスクールの運営を通し各種団体、地域等の協力を図り、教育活動の活性化を図る。							教頭 各学年主任

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--